

建築学科			建築総合演習				
学年	第5学年	担当教員名	草苅敏夫, 三森敏司, 佐藤彰治, 千葉忠弘				
単位数・期間		2単位	前期	週当りの開講回数	1回	必修	学修単位1
授業の目標と概要		4名の先生によるオムニバス形式の授業であり, それぞれでテーマが異なる。異なるテーマを履修することで視野を広げて創造性を身につけることや, 発表会を通じて情報処理能力やプレゼンテーション能力を身につける。					
		釧路高専目標	D:30%,E:70%		JABEE目標	d-2-b,d-2-c,e	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		座学や実験・実習など, 4年生までの授業が基礎となる。 特に, インターネットを通じての情報検索や収集, エクセルやワードの操作, パワーポイントなどの知識が必要です。					
到達目標		1.与えられた条件や要求を理解できる。 2.解決のための適切な計画を立てることができる。 3.総合的にまとめることができる。 4.分析し, 発表することができる。					
成績評価方法		テーマごとのレポート(90%)に授業態度(10%)等を加味し、最終的に全テーマの総合点で評価する。					
テキスト・参考書		参考書: JASS5鉄筋コンクリート工事(日本建築学会) その他, 各教員の指示による					
メッセージ		それぞれのテーマについて, 事前にイメージを膨らませておいて下さい。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
コンクリートの調合設計(4回) -コンクリート計画調合の決定(2回) -コンクリートの試し練り(1回) -試し練り結果の発表及び討論会(1回) 構造物模型の強度コンテスト(4回) -課題説明と模型の設計(1回) -模型の製作(2回) -設計発表会とコンテスト(1回)				・コンクリートの調合設計の方法が理解できる。 ・コンクリートの作製手順を身につけることができる。 ・プレゼンテーション能力を高めることができる。 ・力学的な模型をイメージできる。 ・設計図をもとに作成できる。 ・設計要旨をまとめ, 発表できる。			
前期中間試験				実施しない			
環境設計のための気象データ解析(4回) -調査地域及び項目の決定(1回) -気象庁HPから必要データの取得と分析(1回) -データの統計解析と発表準備(1回) -発表会(1回) まちづくりのための地区診断(4回) -調査要領説明、調査(2回) -診断マップ作成、ワークショップ(1回) -発表会(1回)				・統計解析の方法が理解できる。 ・プレゼンテーション能力を高めることができる。 ・地域気候と建築との関わりについての理解を深めることができる。 ・地区診断の要領を理解でき各自が調査できる。 ・診断結果をマップに書き込みワークショップ、発表ができる。			
前期期末試験				実施しない			
後期中間試験							
後期期末試験							